

お求めやすい！少量パックボタンのご案内

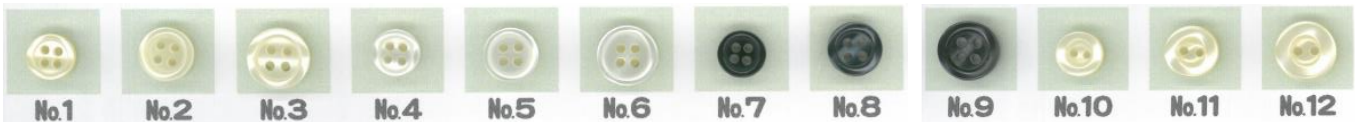
ボタンの歴史

今や洋服にたくさん使われるボタンですが、日本にボタンが入ってきた当初はまだ和装が主でしたので、一般的にはボタンを留め具としてではなく、根付として珍重していたそうです。明治維新あたりからの洋装化の流れで、ボタンが衣服の留め具として普及していきました。当時は道具を使い一個一個職人の手で仕上げられたものが多かったようです。その後、ボタンの需要が多くなるにつれ、色々な機械が発明され製造技術も向上したと言われています。

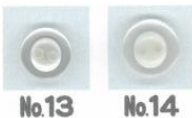
弊社ではベーシックなボタンを38種類チョイスし、必要な分だけ欲しい方に最適な「少量パック」をご用意しております。



◆ベーシックな ワイシャツボタン



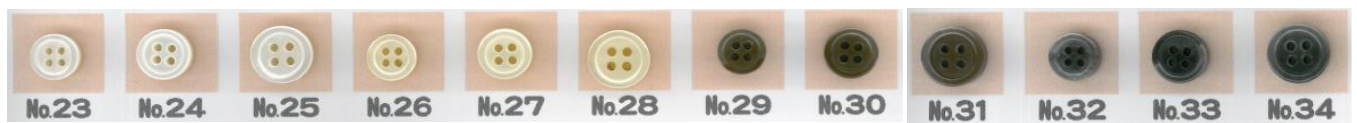
(徳用ボタン)



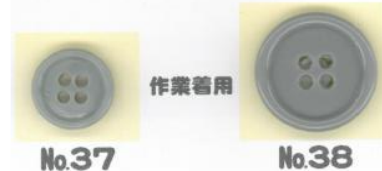
■プレスで割れにくい! 耐熱・耐圧ボタン



★最近増えている 高級肉厚ボタン (4mm厚)



◎作業服用ボタン



※種類によって10ケ～50ケで1袋になっておりますので、お求めやすくなっております。
※見本をお借りしてお探しのボタンを調査することも可能ですのでご相談ください。



★ 次号もお楽しみに！

株式会社 ライト